



岐阜県立岐阜盲学校



所在地 岐阜市北野町70-1
 〒 500-8807
 TEL 058-262-1255・1271
 FAX 058-262-2854
 ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/gifumou-s/>
 e-mail c27360@gifu-net.ed.jp
 校長 林 亨
 交通案内 JR岐阜駅・名鉄岐阜駅より岐阜バスで、
 北税務署前下車、北へ徒歩5分
 設置年月日 小学部 明治27年3月9日
 中学部 明治27年3月9日
 高等部 明治27年3月9日
 専攻科 昭和25年4月1日

校地・校舎

校地面積 16,674.00 m² 校舎諸施設面積(延) 12,496.08 m² 寄宿舍面積 1,332.64 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科(3年課程)	計
児童生徒数		3	10	18	9	40
学級数		3	4	7	3	17

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する視覚障がい者

本年度学校教育の重点

- (小学部) 自分の課題に向かって、仲間とともに粘り強くやりぬく子の育成
- (中学部) 自ら学び、自ら考え、自ら行動する生徒の育成
- (高等部) 自己を高め、視野の広い人間の育成と職業教育の充実

学校の特徴

- (1) 小学部・中学部及び高等部普通科の通常の学級では、通常の小中学校、高等学校に準じた教育を行い高等部保健医療科、専攻科理療科では、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の資格取得のための職業教育を行っている。
- (2) MSリーダーズ活動の一環として近隣の保育園等でパネルシアターやゲームを企画・実施したり、理療の啓発を目的に高齢者施設利用者や地域住民に対してボランティア・マッサージを行うなど、共生社会の実現に資する活動を展開し、地域との交流を深めている。
- (3) 当校のホームページや各種リーフレットによる情報発信により視覚障がい教育や盲学校に対する理解をすすめるための広報啓発活動を積極的に行っている。
- (4) 「見え方の相談支援センター」として、県内6地区での「目に関する相談会」、乳幼児教室、支援訪問、指導者のための相談会、サテライト相談室など、様々な相談や支援のニーズに応じることで視覚障がい教育の拠点校としての役割を積極的に果たしている。



岐阜県立岐阜聾学校



所在地 岐阜市加納西丸町1-74
 〒 500-8488
 TEL 058-271-3700
 FAX 058-271-3705
 ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/gifurou-s/c27361@gifu-net.ed.jp>
 e-mail c27361@gifu-net.ed.jp
 校長 林 正治
 交通案内 JR岐阜駅：南口下車 徒歩20分
 岐阜バス：加納附属小学校前下車 徒歩3分
 設置年月日 幼稚部 昭和31年4月1日
 小学部 昭和6年4月1日
 中学部 昭和12年4月1日

校地・校舎

校地面積 11,838 m² 校舎諸施設面積 7,065.60 m² 寄宿舍面積 1,011.29 m²

設置部・学科・幼児児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科(2年課程)	計
幼児児童生徒数	18	31	13	24	3	89
学級数	4	9	3	5	2	23

対象となる幼児児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する聴覚障がい者

本年度学校教育の重点

- (1) コミュニケーション能力と基礎学力の向上を図る。
- (2) 専門性や指導力の向上を目指す。
- (3) 満足感・達成感、自己肯定感の高揚を図る。
- (4) 発達段階に応じた道徳教育の充実を図る。
- (5) 一人一人の進路実現に向けて支援する。
- (6) センターの機能の充実を図る。
- (7) 防災教育を推進する。

学校の特徴

- (1) 本校は、昭和6年に岐阜県ろうあ学校として設立され、県内唯一の聾学校として、教員の専門性を図り、聴覚障がい教育を推進している。
- (2) 幼稚部・小学部・中学部・高等部(全日制の課程・専攻科)が設置されており、個の実態や障がいの特性に応じた系統的な指導や支援を行っている。
- (3) 近隣の学校や居住地域の学校、老人ホーム等との交流を積極的に行っている。
- (4) パソコン等の視覚を主とする情報媒体を適切に活用し、基礎学力の定着を図るとともに情報社会に対応した情報活用能力を育てている。
- (5) 遠隔地等のため通学が困難な幼児児童生徒には寄宿舍があり、集団生活の中で、規則正しい生活習慣や自主的な生活態度を培っている。
- (6) 「乳幼児教室」を開設し、0歳からの早期から長期的な視点に立った適切な支援を継続的に行っている。
- (7) 聴覚に障がいのある乳幼児児童生徒とその保護者や教師の相談に応じ、育児や学習・生活全般の情報提供や助言をする「支援相談」や聴覚障がいに関わる「理解啓発」活動を行っている。



岐阜県立長良特別支援学校



所在地 岐阜市長良 1 2 3 7 - 1
〒 5 0 2 - 0 0 7 1
TEL 0 5 8 - 2 3 3 - 7 4 1 8
FAX 0 5 8 - 2 3 3 - 7 9 7 8
ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/nagara-sns/c27373@gifu-net.ed.jp>
e-mail
校長 鹿嶋 成美
交通案内 岐阜バス 松籟加納線「長良医療センター口」
下車 徒歩 7 分
岐阜バス おぶさ墨俣線「長良医療センター」
下車 徒歩 2 分

設置年月日 小学部 昭和53年 4 月 1 日
中学部 昭和53年 4 月 1 日
高等部 昭和57年 4 月 1 日

校地・校舎

校地面積 4,015.05 m² 校舎諸施設面積 (延) 2,945.11 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		17 (9)	20 (6)	19 (3)		56 (18)
学級数		9	9	10		28

() は、訪問教育対象児童生徒を内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する病弱者

本年度学校教育の重点

- (1) 児童生徒が自分や仲間の命を大切に、教職員が児童生徒の命を守りきることができる安心・安全な教育を行う。
- (2) 人とかかわりを通して、豊かな表現力、自己肯定感を育てる教育を行う。
- (3) 自立と社会参加を目指して、確かな学力と生きる力を身に付けることができる教育を行う。
- (4) 病弱教育のコア・スクールとして、広く病弱教育の理解啓発・支援・研修、教育活動の工夫・改善を行い、病弱教育のニーズのある児童生徒が適切な教育を受けられるようにする。

学校の特徴

- (1) 小学部、中学部及び高等部があり、各部には通常の学級と重複障がい学級を設置、また訪問教育を実施している。児童生徒の実態に応じた教育課程の編成を図るとともに、「個別の指導計画」に基づき、一人一人のニーズに応じたきめ細やかな教育活動を行っている。
- (2) 日常的な健康管理や医療的ケアで、児童生徒の健康保持を支援しながら、一人一人の将来を見通し、キャリア発達の課題に応じた学習活動を推進し、病気や障がいによる困難を主体的に改善する力や、自ら学び・考える力を育成している。
- (3) 交流及び共同学習や学校行事の取組を通して、交流の場を広げ、人権感覚の向上を図るとともに、社会とかかわる力を育成している。
- (4) 様々な表現活動を通してドリームアート展等地域へ発信するとともに、児童生徒の自己表現力を高め、自己肯定感や自己有用感を育成するように支援している。
- (5) 病弱特別支援学校のコア・スクールとして、特別支援学校・小中学校・高等学校等へ病弱教育の情報を発信し、外部支援を積極的に行っている。



岐阜県立岐阜希望が丘特別支援学校



所在地 岐阜市則武 1 8 1 6 番地 1
 〒 5 0 2 - 0 9 3 1
 TEL 0 5 8 - 2 3 1 - 6 5 0 0
 FAX 0 5 8 - 2 3 2 - 4 2 3 3
 ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/kibougaoka-sns/>
 e-mail c27369@gifu-net.ed.jp
 校長 乙部 理佳代
 交通案内 岐阜バス 忠節長良線
 希望が丘こども医療福祉センター前下車
 設置年月日 小学部 昭和54年4月1日
 中学部 昭和54年4月1日
 高等部 平成28年4月1日

校地・校舎

校地面積 約 31,000 m²の一部を利用 校舎諸施設面積(延) 8,480.65 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		43	13	19		75
学級数		18	7	7		32

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する肢体不自由者

本年度学校教育の重点

- (1) 安全・安心と健康維持を第一とし、健康なからだと豊かな心をもつ子どもを育てる。
- (2) 一人一人の発達段階に応じた学習活動の推進に努め、自分の思いをのびのびと表現できる子どもを育てる。
- (3) 自発的な動きと意欲を高める指導を工夫し、仲間と生き生きと活動できる子どもを育てる。

学校の特徴

- (1) 肢体不自由の特性や児童生徒の実態に対応した教育課程を編成し、ティーム・ティーチングの良さを生かしながら一人一人のニーズに応じたきめ細かな授業をしている。
- (2) 毎日の的確な健康管理と医療的ケアの実施により、安全・安心な学校体制の確立を図っている。
- (3) 隣接の医療型障がい児入所施設の希望が丘こども医療福祉センターを始め、家庭・地域・医療・福祉等と密接な連携を図り、自立と社会参加に向けた指導をしている。
- (4) 外部専門家との連携やコア・ティーチャーの取組を生かし、教員の肢体不自由教育に関する専門性や指導力の向上を図っている。
- (5) 肢体不自由教育のコア・スクールとして、積極的に情報発信や相談活動を実施している。
- (6) 居住地校交流や学校間交流を積極的に進め、特別支援教育の理解啓発に努め、インクルーシブ教育の推進を図っている。
- (7) 平成27年9月に新校舎供用を開始し、平成28年4月に高等部を新設した。平成31年3月に体育館等が完成、4月より供用を開始した。



岐阜県立岐阜本巣特別支援学校



所在地 岐阜市西秋沢 2-363-1
 〒 501-1184
 TEL 058-239-9712
 FAX 058-293-9022
 ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/gifumotosu-sns/>
 e-mail c27398@gifu-net.ed.jp
 校長 水野 慎治
 交通案内 岐阜バス 黒野線 西秋沢下車
 設置年月日 小学部 平成20年4月1日
 中学部 平成20年4月1日
 高等部 平成20年4月1日

校地・校舎

校地面積 45,370 m² 校舎諸施設面積 12,843.08 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		83 (1)	41 (0)	99 (1)		223 (2)
学級数		24	13	20		57

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

◎全職員が一丸となって協力し、三障がい併置の特別支援学校としての特色ある学校づくりを進める。

- (1) 個別の教育支援計画に基づいたきめ細かな教育を推進する。
- (2) 安心して登校できる教育環境の確立に努める。
- (3) 交流及び共同学習を積極的に進め、社会性豊かな人間性を育む教育を推進する。
- (4) 卒業後の進路に向けた移行支援を確実に進める学校づくりに努める。
- (5) 岐阜北部地域の特別支援教育のセンターとしての役割を推進する。

学校の特徴

- (1) 知的障がい、肢体不自由、病弱のそれぞれの障がいに応じた教育課程を編成し、さらに一人の実態やニーズに応じたきめ細かな教育を実施している。
- (2) 学校行事は、様々な障がい種を越えて全校で実施している（運動会・体育大会については、小中学部、高等部の二つに分かれて実施）。
- (3) 地域との交流や居住地校交流(小・中学部)、網代小学校、岐阜農林高等学校、岐北高等学校、山県高等学校、本巣松陽高等学校との学校間交流及び共同学習を積極的に進め、社会性や豊かな心を育てる教育を実施している。
- (4) 喫茶『café 和 なごみー』の営業、掃除ボランティア等、地域に根ざした学習活動を展開している。
- (5) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士と連携した教育を実施している。
- (6) 地域に在住する就学前障がい児及び保護者に対し、毎月親子教室を実施し、相談支援活動を行っている。



岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校



所在地 岐阜市芥見南山 3-11-1
 〒 501-3133
 TEL 058-243-0710
 FAX 058-243-0711
 ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/seiryu-asns/>
 e-mail c27383@gifu-net.ed.jp
 校長 土井 充行
 交通案内 (岐阜バス) 岐阜清流高等特別支援学校前下車
 徒歩3分
 (岐阜バス) 長山下車 徒歩15分
 設置年月日 平成29年4月1日

校地・校舎

校地面積 46,826.00 m² 校舎諸施設面積 (延) 10,724.89 m²

設置部・学科・生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
生徒数				137		137
学級数				18		18

対象となる生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者のうち、障がいの程度が軽度の生徒

本年度学校教育の重点

【学校教育目標】

企業就労による社会自立に向け、高い志をもち、専門性の高い知識・技能を身に付け、地域や社会に貢献できる人間性豊かな生徒を育成する。

- ①夢や目標の実現に向け、様々な活動に挑戦し、自ら選択・判断できる生徒
- ②専門性の高い知識・技能及び態度を身に付け、社会人・職業人として社会自立できる生徒
- ③豊かな人間関係を築き、進んで地域や社会に貢献できる生徒

【重点的な取組】

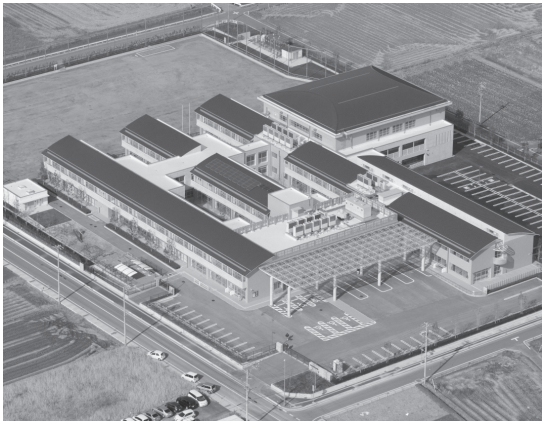
- (1) 職業自立・社会自立を実現するための実践的な教育の推進
- (2) 身を守るための教育の推進と危機管理体制の構築
- (3) 地域や企業との連携強化

学校の特徴

- (1) 職業的自立に必要な知識・技能の習得を目指して、企業の雇用ニーズに対応した選択専門コース、必須専門コースを設定し、コースに応じた学習を効果的に行うことが可能な施設と設備を用意している。
- (2) 卒業後に人と関わりあいながら自立した生活をするための力を身につけるため、宿泊訓練を行ったり、地域の方を対象に、喫茶サービスや介護や清掃のサービスを提供したりしながらコミュニケーション能力を養っている。
- (3) コミュニティ・スクール制度(学校運営協議会制度)を導入し、保護者や地域の方々や学校運営に関する目標やビジョンを共有しながら互いに連携・協働し、将来、地域や社会に貢献できる担い手となる人材の育成を行っている。



岐阜県立羽島特別支援学校



所在地 羽島市正木町大浦 2 3 0 - 1
 〒 5 0 1 - 6 2 2 4
 TEL 0 5 8 - 3 9 2 - 8 1 8 1
 FAX 0 5 8 - 3 9 2 - 8 1 8 5
 ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/hashima-sns/c27354@gifu-net.ed.jp>
 e-mail
 校長 奥村 哲也
 交通案内 ○竹鼻線「不破一色」駅下車、徒歩15分
 ○羽島市コミュニティバス(赤)羽島特別支援学校東口バス停より徒歩3分
 設置年月日 小学部 平成28年4月1日
 中学部 平成28年4月1日
 高等部 平成28年4月1日

校地・校舎

校地面積 20,438.72 m² 校舎諸施設面積(延) 9,222.93 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		62 (0)	32 (0)	72 (0)		166 (0)
学級数		20	11	12		43

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

- (1) 児童生徒が安心・安全に活動できる学校
教職員や保護者、地域が一体となって、児童生徒が安心して教育活動に取り組み、児童生徒の命を守り抜く学校を作る。
- (2) 児童生徒・保護者のニーズに応えられる学校
児童生徒や保護者のニーズを的確に把握し、個別の教育支援計画をもとにした、きめ細かな指導ができる学校を作る。
- (3) 地域に開かれ、地域の児童生徒等とともに学ぶことのできる学校
児童生徒の学習活動の様子や成果を地域に発信するとともに、地域の教育力を積極的に取り入れる学校を作る。

学校の特徴

- (1) 学校は羽島市東部にあり、商店街や福祉施設、小中学校等が近くにある地域である。地域で行われるイベント等に参加し、地域住民との交流を行っている。
- (2) 職業教育用の各種特別教室(食品加工室、被服室、窯業室等)が充実しており、高等部ではサービス部門として、喫茶サービス班、ビルクリーニング班、物作り部門として、食品加工班、手工芸班、農業班、窯業班、木工班の合計7つの作業班で作業学習を行っている。
- (3) 喫茶サービスが行える厨房を完備しており、「ロータスカフェ」として喫茶サービスの授業を行いながら、地域の方々との交流を行っている。また、作業製品の販売活動や地域の施設での清掃作業を通して、地域とのつながりを広げている。
- (4) 近隣学校との交流を行うとともに、センター的機能の一環として、地域の保育園・幼稚園、小学校、中学校、高等学校への相談支援活動を行っている。また、「ひだまり相談会」を実施し、児童生徒や保護者、教員を対象に相談活動を行っている。



岐阜県立揖斐特別支援学校



所在地 揖斐郡揖斐川町谷汲深坂 2 7 6 0
 〒 5 0 1 - 1 3 1 3
 TEL 0 5 8 5 - 5 6 - 0 0 5 0
 FAX 0 5 8 5 - 5 5 - 2 0 5 5
 ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/ibi-sns/>
 e-mail c27333@gifu-net.ed.jp
 校長 松原 勝己
 交通案内 揖斐川町コミュニティバス 横蔵線
 揖斐特別支援学校前下車 徒歩 1 分
 設置年月日 小学部 平成 2 1 年 4 月 1 日
 中学部 平成 2 1 年 4 月 1 日
 高等部 平成 2 1 年 4 月 1 日

校地・校舎

校地面積 21,263 m² 校舎諸施設面積(延) 3,213 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		16 (0)	16 (1)	52 (0)		84 (1)
学級数		8	6	12		26

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

- (1) 魅力ある授業づくり … 個々に応じた細やかな学習指導の実践する
- (2) 開かれた学校づくり … 地域の中で社会性や豊かな感性を育てる
- (3) 個に応じた自己実現 … 個別の教育支援を図る
- (4) 安心できる教育環境づくり … 健康指導と防災教育の推進を図る

学校の特徴

- (1) 平成 2 1 年 4 月に開校した小学部・中学部・高等部の 3 学部からなる全校児童生徒 8 4 名の学校です。一人一人が「いきいき・のびのび・かがやく」授業づくりを行っています。
- (2) 地域社会に開かれた学校、地域に根付いた学校を目指し、近隣の諸学校と交流及び共同学習を行い、地域の行事への参加や、ボランティア参加等を進めています。
- (3) 西濃北部地域の特別支援教育のセンター的機能の拠点として、地域の学校や保護者、地域の方々等に積極的に相談活動や支援活動、研修会等を行っています。



岐阜県立大垣特別支援学校



所在地 大垣市西大外羽1丁目227番地1
〒 503-0963
TEL 0584-89-4816 (本校・寄宿舎)
0584-89-4122 (北校舎)
FAX 0584-89-4817 (本校)
0584-89-7835 (北校舎)
ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/ogaki-sns>
e-mail c27371@gifu-net.ed.jp
校長 錦見 政哲
交通案内 養老鉄道「友江駅」下車、徒歩15分、
または「大外羽駅」下車、徒歩10分
設置年月日 小学部 昭和49年4月1日
中学部 昭和49年4月1日
高等部 昭和55年4月1日

校地・校舎

本校校：校地面積 19,636.00 m² 校舎諸施設面積 (延) 7,297.7 m² 寄宿舎面積 2,199.88 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		96 (0)	37 (0)	112 (1)		245 (1)
学級数		26	10	25		61

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

自ら学び自ら考えるなどの「生きる力」の育成を目指し、基礎的・基本的な内容の定着と自立と社会参加に向けた主体的な教育を充実させる。

- (1) 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を核にした、PDCAサイクルの改善
- (2) 児童生徒の学習活動の様子や成果の発信と、地域の教育力の活用
- (3) 命を守る教育と体制の充実

学校の特徴

- (1) 知的障がい、肢体不自由、病弱のそれぞれの障がいに応じた教育課程を編成し、さらに一人一人の実態やニーズに応じたきめ細やかな教育を実施している。
- (2) 児童生徒は、5台のスクールバスや電車等を利用して通学している。また、寄宿舎があり、通学困難等の児童生徒の生活自立や社会自立に向けた生活支援を大切にして取り組んでいる。
- (3) 知的障がい、肢体不自由、病弱のそれぞれの障がいに応じた教育課程を編成し、さらに一人一人の実態やニーズに応じたきめ細やかな教育を実施している。
- (4) 小学部・中学部では、自立活動の時間に個別で取り組む課題を設定する教育課程を編成し、集団編制・指導法を工夫したりしながら実践の充実を図っている。
- (5) 高等部では、普通コース・職業コースを設け、「働く人になろう」をスローガンに職業教育に取り組んでいる。特に産業現場等での実習の機会を多く設定し、職業教育の充実を図っている。また、大学進学に向けての教育課程を設定し、情報提供や補習授業等に取り組んでいる。
- (6) 地域社会や近隣の小学校、中学校、高等学校及び西濃高等特別支援学校との交流や共同学習及び児童生徒の居住地校での交流及び共同学習を進めている。また、地域支援活動・相談活動の充実を図る中、障がいのある児童生徒の適正な就学に努めている。
- (7) 特別支援教育のセンターとして、積極的に地域の学校や保護者、地域の方々などに相談活動や支援活動を行っている。また、相談室「きらり」を設置し、保護者や教員を対象に相談活動を行っている。



岐阜県立西濃高等特別支援学校



所在地 大垣市西大外羽 1 - 1 8 1 - 1
〒 5 0 3 - 0 9 6 3
TEL 0 5 8 4 - 8 9 - 4 8 4 8
FAX 0 5 8 4 - 8 9 - 7 8 3 5
ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/seino-asns/>
e-mail c27385@gifu-net.ed.jp
校長 市橋 信子
交通案内 養老鉄道友江駅下車 徒歩 1 5 分
設置年月日 平成 3 0 年 4 月 1 日

校地・校舎

校地面積 11,726.00 m² 校舎諸施設面積(延) 3,431.99 m²

設置部・学科・生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
生徒数				48		48
学級数				6		6

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者のうち、障がいの程度が軽度の生徒

本年度学校教育の重点

企業就労による社会自立に向け、高い志をもち、専門性の高い知識・技能を身に付け、地域や社会に貢献できる人間性豊かな生徒を育成する。

- (1) 夢や目標の実現に向け、様々な活動に挑戦し、自ら選択・判断できる生徒
- (2) 専門性の高い知識・技能及び態度を身に付け、社会人・職業人として自立できる生徒
- (3) 豊かな人間関係を築き、進んで地域や社会に貢献できる生徒

学校の特徴

- (1) 職業的自立に必要な知識や技能の習得を目指し、普通教科、必須専門教科(喫茶サービス・ビジネス情報・ロジスティックス)に加えて、選択専門コース(工業・食品・福祉・環境)を設定している。
- (2) 卒業後に人と関わりながら自立した生活をするため、宿泊学習を行ったり、校内で地域の方に喫茶サービスを提供したりしながら、生活能力やコミュニケーション能力を育成している。
- (3) 就労に必要な態度や技能を実践的に身に付けるため、学校の学習と企業における実習を同時期に行う企業内実習を実施している。



岐阜県立海津特別支援学校



所在地 海津市平田町今尾 3 8 8 5 - 2
〒 5 0 3 - 0 3 2 1
TEL 0 5 8 4 - 6 6 - 2 8 8 8
FAX 0 5 8 4 - 6 5 - 1 0 3 1
ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/kaizu-sus/>
e-mail c27399@gifu-net.ed.jp
校長 石原 和寿
交通案内 名阪近鉄バス海津線 今尾バス停下車徒歩 5 分
海津市コミュニティバス 今尾バス停下車徒歩 1 5 分
設置年月日 小学部 平成 2 0 年 4 月 1 日
中学部 平成 2 0 年 4 月 1 日
高等部 平成 2 0 年 4 月 1 日

校地・校舎

校地面積 32,472.10 m² 校舎諸施設面積 (延) 3,786.65 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		11 (0)	16 (1)	20 (1)		47 (2)
学級数		6	5	6		17

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

児童生徒がもつ可能性を最大限に伸ばすことができるように

- (1) 児童生徒一人一人の障がいの状況や、発達段階等に応じたきめ細かい教育を行う。
- (2) 仲間と共にとくましく、明るく生きる力を育む。
- (3) 一人一人が社会自立に必要な基礎的・基本的な知識・技能を培う。

学校の特徴

- (1) 開校 1 2 年目を迎えた、知的障がい・肢体不自由・病弱の障がいのいずれか、又はそれらを併せ有する児童生徒を対象とした総合化した特別支援学校である。
- (2) 地域に密着した学校を目指し、地域の銀行で児童生徒が制作した作品を展示したり、学校拡大新聞を海津庁舎など 6 会場に展示したりしている。また、高等部の作業学習で作った製品を、道の駅などで販売する活動を行い、本校の情報発信を行っている。
- (3) 特別支援教育のセンター的機能として、積極的に地域の学校や保護者、地域の方々などに相談活動や支援活動、研修会などを行っている。



岐阜県立郡上特別支援学校



	【大和校舎】	【那比校舎】
所在地	郡上市大和町栗巣32番地1	郡上市八幡町那比3068番地
〒	501-4603	501-4237
TEL	0575-88-3020	0575-63-0020
FAX	0575-88-3180	0575-63-2340
ホームページ	http://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/gujyou-sns/	
e-mail	c27396@gifu-net.ed.jp	
校長	山内 明志	
交通案内	長良川鉄道徳永駅下車 タクシー利用	長良川鉄道郡上八幡駅下車 タクシー利用
設置年月日	小学部 17年4月1日 中学部 17年4月1日 高等部 17年4月1日 (平成21年4月1日移転)	

校地・校舎

大和校舎	校地面積	6,040 m ²	校舎諸施設面積 (延)	1,400.75 m ²
那比校舎	校地面積	6,590 m ²	校舎諸施設面積 (延)	1,676.13 m ²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		9 (0)	8 (0)	22 (0)		39 (0)
学級数		5	4	5		14

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者、肢体不自由者

本年度学校教育の重点

- (1) 児童生徒の発達や障がい等の状態を総合的にとらえて、一人一人のニーズに応じた教育計画を作成し適切な指導を行う。
- (2) 児童生徒のもつ力を最大限に伸ばし、自立や社会参加に必要な知識や技能・態度を身に付け、互いに助け合いながら生活の自立を目指す教育を行う。

学校の特徴

- (1) 知的障がい、肢体不自由それぞれの障がいに応じた教育課程を編成し、さらに一人一人の実態に応じたきめ細やかな教育を実施している。
- (2) 児童生徒の経験を広めて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育むため、地域の教育資源や学習環境を活用した取組、近隣の学校との交流を行い、地域の人々と活動を共にする機会を積極的に設けている。(小・中学部：米作り体験、くりす祭、高等部：出前喫茶、出前清掃、地域販売、全校：大和くりす展、学校間交流等)
- (3) センター的機能の一環として、郡上市内の保育園・幼稚園、小学校、中学校、高等学校への訪問や研修会を行い、地域の幼児児童生徒、保護者への支援を実施している。



岐阜県立関特別支援学校



所在地 関市桐ヶ丘一丁目2番地
 〒 501-3938
 TEL 0575-22-4238
 FAX 0575-22-4239
 ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/seki-sns/>
 e-mail c27370@gifu-net.ed.jp
 校長 和田 俊人
 交通案内 名鉄各務原線「三柿野」駅下車 岐阜バス倉知線
 「関商工前」下車徒歩3分
 設置年月日 小学部 昭和41年3月22日
 中学部 昭和41年3月22日
 高等部 昭和43年3月30日

校地・校舎

校地面積 46,542.65 m² 校舎諸施設面積(延) 17,065.15 m² 寄宿舍面積 1,519.54 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		18(0)	15(0)	21(0)		54(0)
学級数		8	8	11		27

()は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

- (1) オーダーメイドの教育の推進
 - ・児童生徒一人一人の実態や進路に対応し、児童生徒や保護者の願いに寄り添った教育
 - ・個別の教育支援計画、個別の指導計画の充実と個に応じたカリキュラムの編成
 - ・特別支援教育と各種障がいに係る教員の専門性の向上
- (2) インクルーシブ教育の推進
 - ・「関特だより」等による地域への積極的な情報発信や関係機関との連携による各種作品展への参加
 - ・地域の小・中・高等学校との交流及び共同学習や地域資源を活用した教育活動の充実
 - ・交流圏での居住地校交流の推進
 - ・センター機能の充実と関係機関との連携強化
- (3) キャリア教育の推進
 - ・小学部から高等部まで系統性のある社会参加・社会自立を目指すキャリア教育の推進
 - ・関係機関と連携した実習先や就業先の開拓
 - ・学ぶことと社会のつながりを意識した教育活動の推進

学校の特徴

- (1) 学校行事、授業参観週間等への地域の方の参加を進めている。
- (2) ICT機器等を活用して児童生徒の興味・関心を喚起し、主体的な姿を引き出している。
- (3) 地域社会に開かれた学校を目指し、近隣の小学校や中学校、高等学校との交流及び共同学習を進めている。
- (4) 特別支援教育の地域センターとして、支援相談、乳幼児教室、各種研修会等を行っている。



岐阜県立中濃特別支援学校



所在地 関市桐ヶ丘 2-3
〒 501-3938
TEL 0575-24-1773 (本校舎)
FAX 0575-24-6265 (本校舎)
TEL&FAX 0575-22-5105 (分教室)
ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/cyuno-sns/>
e-mail c27374@gifu-net.ed.jp
校長 武市 由紀子
交通案内 岐阜バス倉知線 (関シティターミナルより)
向山団地バス停下車、徒歩5分
設置年月日 小学部 昭和53年4月1日
中学部 昭和53年4月1日
高等部 平成 3年4月1日

校地・校舎

校地面積 本校舎 (岐阜県立ひまわりの丘との共同使用) 校舎諸施設面積 (延) 5,555.32 m²
分教室 (岐阜県立関特別支援学校内) 校舎諸施設面積 820.98 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		63	50	97		210
学級数		16	11	18		45

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者

本年度学校教育の重点

- 育成を目指す資質・能力を確実に身に付けるための授業づくり《カリキュラムマネジメント》
- 関係機関と連携した居住地における一人一人に応じた変災時対応力の育成プログラムの開発
《防災教育・交流教育》
- 小学部から高等部までの系統性のある実践的な健康教育・性教育の実践 《健康教育・性教育》

学校の特徴

- (1) 児童生徒の約11%は、隣接する知的障がい児施設「岐阜県立ひまわりの丘第一学園」より通学しており、施設との密接な連携を取りながら教育的支援を行っている。
- (2) 小学部では、日常生活の指導、自立活動等、中学部・高等部では生活単元学習、作業学習等を通して、児童生徒一人一人に応じた社会参加と自立を目指した教育的支援を行っている。
- (3) 児童生徒の実態・実情に応じた地域社会との交流活動を展開するとともに、文化系・運動系の部活動(中学部・高等部)を積極的に推進し、社会啓発活動に役立てながら、卒業後の豊かな生活につながる教育的支援を行っている。
- (4) 支援センターを設置し、個に応じた来校相談、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校への訪問支援や教材・教具の貸出し並びに本校研修会への参加を呼び掛けるなど、特別支援教育における地域のセンター的役割を積極的に果たしている。



岐阜県立可茂特別支援学校



所在地 美濃加茂市牧野 2 0 0 7 - 1
〒 5 0 5 - 0 0 1 6
TEL 0 5 7 4 - 2 8 - 3 1 5 0
FAX 0 5 7 4 - 2 8 - 3 1 5 1
ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/kamo-sns/>
e-mail c27376@gifu-net.ed.jp
校長 兒玉 哲也
交通案内 東濃鉄道バス八百津線
可茂特別支援学校前下車
設置年月日 小学部 平成 2 3 年 4 月 1 日
中学部 平成 2 3 年 4 月 1 日
高等部 平成 2 3 年 4 月 1 日

校地・校舎

校地面積 44,500 m² 校舎諸施設面積(延) 6,950 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		92 (1)	54 (1)	128 (0)		274 (2)
学級数		24	16	29		69

() は、訪問教育対象児童生徒を内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

- (1) 一人一人の教育的ニーズを十分に把握し、個に応じた学習指導の徹底を図る。
- (2) 豊かな心を養うとともに体力の向上を図り、心身の調和的発達を促す。
- (3) 社会自立、職業自立に向け、児童生徒を主体とした実践的な取り組みを実施する。
- (4) 家庭、地域社会、関係機関との連携を図るとともに、居住地校交流、交流及び共同学習を積極的に推進する。

学校の特徴

- (1) 可茂地域における初めての特別支援学校として平成 2 3 年 4 月に新設開校された。
- (2) 開校以来、障がいの状況にかかわらず、様々な教育活動に全校一丸となって取り組むことをモットーとしている。
- (3) 地域に根ざした特別支援学校を目指し、地域住民や近隣学校との交流、防災教育における地元関係諸機関との積極的な連携、地元企業との協力による職業体験の充実に取り組んでいる。



岐阜県立東濃特別支援学校



所在地 土岐市泉町河合根ノ上 1 1 2 7 - 1 0
〒 5 0 9 - 5 1 0 1
TEL 0 5 7 2 - 5 5 - 4 8 2 1
FAX 0 5 7 2 - 5 5 - 4 8 2 9
ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/tono-sns/>
e-mail c27381@gifu-net.ed.jp
校長 伊藤 芳博
交通案内 JR 中央線土岐市駅下車
東鉄バス東濃フロンティア高校線
特別支援学校前下車 徒歩 1 分
設置年月日 小学部 昭和 5 5 年 4 月 1 日
中学部 昭和 5 5 年 4 月 1 日
高等部 昭和 5 9 年 4 月 1 日

校地・校舎

校地面積 19,324 m² 校舎諸施設面積(延) 6,263 m² 寄宿舍面積 1,107 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		70 (1)	44 (0)	96 (0)		210 (1)
学級数		23	17	21		61

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第 2 2 条の 3 に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

- (1) 子どもたちの心と身体を大切にする態度の育成
 - ・子どもたちの心に寄り添い、安心して学習できる環境づくり
 - ・豊かな人間関係の形成、食や性等に関する正しい知識の習得
- (2) 「わかった」「できた」喜びのある授業実践
 - ・「主体的・対話的で深い学び」のある授業を目指した教育実践
 - ・教科等の指導の充実及び合わせた指導の質の向上を目指した授業改善
 - ・小学部段階から系統的に取り組む組織的・計画的な進路指導体制の確立
- (3) 共に学び合う楽しさを高めるインクルーシブ教育の推進
 - ・体験的な学習の提供と、子どもたち同士で学び合う学習活動の充実
 - ・地域資源の効果的な活用
 - ・特別支援教育の専門性と教科等の指導力向上を図るための継続した研修の推進

学校の特徴

- (1) 防災教育に積極的に取り組み、シェイクアウト訓練に継続的に取り組んでいる。また防災に関する授業において自分の命を守る学習に取り組んでいる。
- (2) 授業を第一に考え、教員が一人一研究授業に取り組む、授業力向上に取り組んでいる。
- (3) 共生社会の実現を目指し、インクルーシブ教育システムとして小・中学部の交流籍(居住地校交流)や高等学校との共同学習や、地域の団体との交流活動を積極的に推進している。



岐阜県立恵那特別支援学校



所在地 恵那市岩村町133番地3
 〒 509-7403
 TEL 0573-43-4857
 FAX 0573-43-4858
 ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/ena-sns/c27372@gifu-net.ed.jp>
 e-mail
 校長 安田 昭夫
 交通案内 明知鉄道岩村駅下車徒歩15分
 設置年月日 小学部 昭和49年4月1日
 中学部 昭和49年4月1日
 高等部 平成20年4月1日

校地・校舎

校地面積 24,513 m² 校舎諸施設面積(延) 8,510.63 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		49 (1)	31 (0)	66 (1)		146 (2)
学級数		15	10	16		41

() は、訪問教育対象児童生徒を内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

<校訓> 健(すこやかに) いたわり合い、励まし合い、学び輝く

- (1) 「個別の教育支援計画」の作成・活用を通して、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、家庭や地域社会、医療、福祉等関係諸機関との連携の下、長期的な視点に立った教育的支援を行う。
- (2) 総合化された特別支援学校として児童生徒の病障がいの状態や発達段階・特性等や一人一人の状況に応じた支援を行うとともに、地域のセンター的機能を担う。

学校の特徴

- (1) ふるさと教育実践校として地域資源を活用した体験的な学習や地域の方々との交流を推進し、地域で生活していく力や働く力を培い、自立と社会参加を目指す取組を推進している。
- (2) 交流籍を活かした居住地校交流や、学校間の交流及び共同学習を積極的に推進し、社会性や豊かな人間性の育成を図っている。
- (3) 東濃東部地域を中心とした学校等や関係諸機関と連携協働を図りながら、センター的機能として訪問支援、研修支援等の職員派遣や、障がいのある幼児児童生徒の適正な就学に向けての教育相談に積極的に応じている。



岐阜県立下呂特別支援学校



所在地 下呂市小川432-1
 〒 509-2203
 TEL 0576-24-1016
 FAX 0576-24-1018
 ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/gero-sns/>
 e-mail c27377@gifu-net.ed.jp
 校長 金子 佳弘
 交通案内 JR下呂駅下車 タクシー利用
 設置年月日 小学部 平成25年4月1日
 中学部 平成25年4月1日
 高等部 平成25年4月1日
 (平成21年4月飛騨特支分校 高等部のみ開設)

校地・校舎

校地面積 34,963 m² 校舎諸施設面積(延) 22,172 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		13 (0)	6 (0)	29 (0)		48
学級数		6	4	5		15

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

一人一人の障がいの状態や能力に応じて、個々のもてる力(個性)を高め、生きる力を育む

- (1) 基本的な生活習慣を身に付け、生き生きと生活する力の育成
- (2) 人との適切な関わり方を身に付け、自分らしく意欲的に生活する力の育成
- (3) 自分の良さや可能性を最大限に発揮し、社会の一員として自立し、参加する力の育成

学校の特徴

- (1) 社会人として生活自立、社会自立、職業自立するために必要な態度、知識、技術の育成に努めている。
- (2) 居住地や地域の一員として、各種行事において太鼓の演奏を行なうなど、地域と連携した活動を通して交流の充実に努めている。
- (3) 飛騨南部地区の特別支援教育の拠点として、関係諸機関と連携を図りながら、研修、相談、卒業後の支援などを行い、センター的機能の推進を図っている。



岐阜県立飛騨特別支援学校



所在地 高山市山田町831番地44
〒 506-0058
TEL 0577-34-7122
FAX 0577-34-6813
ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/hida-sns/>
e-mail c27375@gifu-net.ed.jp
校長 安藤 邦寿
交通案内 高山濃飛バスセンター（高山駅横）からのらマイカー「西線右回り」やまゆり学園口 下車
設置年月日 小学部 昭和54年4月1日
中学部 昭和54年4月1日
高等部 平成 2年4月1日

校地・校舎

校地面積 11,165.36 m² 校舎諸施設面積（延）4,977.5 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

（5月1日現在）

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		35（1）	25（1）	65（0）		124（2）
学級数		10	6	12		28

（ ）は、訪問教育対象児童生徒を内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者

本年度学校教育の重点

「ひとりだちのできる子」の育成（自立と社会参加の力を育てる）

*児童生徒一人一人の障がいの特性に応じた、きめ細やかな支援や指導をとおして、個々の可能性を最大限に引き出すことを目指し、自立と社会参加の力を育てる。

- (1) 「生活自立」◇基本的な生活習慣の確立
 - ◇基礎体力の向上
 - ◇基礎学力の定着
- (2) 「社会自立」◇情緒のコントロール
 - ◇コミュニケーションスキルの獲得
 - ◇規範意識や危険回避能力の育成
- (3) 「職業自立」◇働くことの意義や役割の理解
 - ◇職業に対する理解や実際的な知識・技能・態度の習得

学校の特色

- (1) 知的障がい児施設や通園事業施設を利用している児童生徒も多く、保護者や施設と密な連携をとりながら支援を行っている。
- (2) 専門性向上の一助として、専門家による講座や研修会を実施している。また、教材教具展の開催を通じて、本校の教育実践を地域に還元する取組を行っている。
- (3) 幼児教室や小・中・高等学校への訪問支援を実施し、障がいのある子どもの子育てや支援方法、就学に向けての相談活動を行っている。



岐阜県立飛騨特別支援学校高山日赤分校



所在地 高山市天満町3-41-1
 〒 506-0025
 TEL 0577-34-3637
 FAX 0577-34-3829
 ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/hida-bsns/>
 e-mail c27375b@gifu-net.ed.jp
 校長 安藤 邦寿
 交通案内 JR高山駅下車 徒歩10分
 設置年月日 小学部 昭和54年4月1日
 中学部 昭和54年4月1日
 高等部 平成28年4月1日

校地・校舎

校地面積 1,381 m² 校舎諸施設面積(延) 997.2 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		4	4	3		11
学級数		2	2	2		6

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

- (1) 小学部から高等部という年齢幅や、肢体不自由と病弱という障がいの状態に対応した支援のあり方を学校全体で工夫し、活力ある学校づくりに努める。
- (2) 一人一人の障がいの状態や特性、発達段階等に応じた、きめ細かな支援や指導を行う。
- (3) 個々の可能性を最大限に伸ばし、毎日をより豊かに生活していくための基礎的・基本的な力を育成する。
- (4) 相互に助け合い、思いやりのある好ましい人間関係を育てる。
- (5) 地域社会につながる機会をつくり、自立や社会参加に必要な集団性や社会性の育成を図る。
- (6) 家庭、地域社会、関係機関との連携を図るとともに、交流及び共同学習を積極的に推進する。

学校の特徴

- (1) 高山赤十字病院の医師やPT等と連携を図りながら、一人一人の病状や障がいの状態に応じた、適切な支援を行っている。
- (2) 少人数の学校で集団での活動を確保するため、部を超えたグルーピングを工夫して授業を行っている。
- (3) 学校の立地条件を利用し、校外での学習や交流、地域施設での作品展示等を積極的に取り入れ、地域社会の人々と関わる中で、生活体験を広げ、社会性を培うことに努めている。
- (4) 特別支援教育のセンター校として、講演会や幼児体験教室の開催、教材教具の貸し出し、地域の小・中学校等への相談支援を行っている。



岐阜県立飛騨吉城特別支援学校



所在地 飛騨市古川町片原町8番127
 〒 509-4222
 TEL 0577-73-3600
 FAX 0577-73-7330
 ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/hidayosiki-sns/>
 e-mail c27382@gifu-net.ed.jp
 校長 駒田 美奈
 交通案内 JR飛騨古川駅下車 徒歩10分
 設置年月日 小学部 平成25年4月1日
 中学部 平成25年4月1日
 高等部 平成25年4月1日

校地・校舎

校地面積 約4,830 m² 校舎諸施設面積(延) 2,456.26 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		10(0)	7(0)	12(0)		29(0)
学級数		4	4	5		13

() は、訪問教育対象児童生徒で内数

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者、肢体不自由者、病弱者

本年度学校教育の重点

- (1) 一人一人の教育的ニーズに応じて、個々の可能性を最大限に発揮できる教育的支援をする。
- (2) 市内の中心部に設立された立地条件を生かし、地域の教育的資源を活用した体験的な学習を実施する。
- (3) 小学校と敷地を共有する利点を有効活用した交流活動を実践する。
- (4) 安心して、学校生活を楽しむことができる状況作りを進め、児童生徒一人一人の自己表現を促す。
- (5) 一人一人が、自己実現に向けて、能力、特性に応じた主体的な進路選択、進路決定ができる環境を作る。

学校の特徴

- (1) 育ち、学び、共に生きることができるよう、一人一人の状況に応じた教育を推進する。
- (2) 部地域における特別支援教育の拠点として、センター的な役割を担い、地域に開かれた教育活動を推進する。



岐阜市立岐阜特別支援学校



所在地 岐阜市小西郷3丁目120番地2
 〒 501-1176
 TEL 058-239-2821
 FAX 058-234-0906
 ホームページ <http://cms.gifu-gif.ed.jp/gifutokushi/>
 e-mail gifutokushi@sne.gifu-gif.ed.jp
 校長 宮川 誠
 交通案内 岐阜バス西郷線岐阜特別支援学校前下車
 設置年月日 小学部 昭和38年4月1日
 中学部 昭和38年4月1日
 高等部 昭和55年4月1日

校地・校舎

校地面積 27,584 m² 校舎諸施設面積(延) 12,678 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数		64	36	102		202
学級数		15	9	17		41

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者

本年度学校教育の重点

- (1) 「フットワーク、チームワーク、ネットワーク」でニーズに応じた教育の推進
- (2) 卒業後を見据えた系統的・発展的なキャリア教育
- (3) コミュニティスクールとして、地域とともに生き、ともに育つ、学校づくり

学校の特徴

- (1) 「自立と社会参加」を学校の教育目標とし、全職員が人権感覚豊かに健康でたくましい児童生徒の育成に努めている。
- (2) 生活単元学習や作業学習を核としたテーマのある学校生活を展開する中で、児童生徒一人一人が願いやあこがれをもって主体的に活動できるように努めている。
- (3) 岐阜市の特別支援教育の拠点として地域の学校や保護者等に対して専門的な相談に応じるなど、地域のセンター的な機能の充実に努めている。
- (4) 児童生徒が居住地や地域の一員として生活できるように居住地校や地域の学校・各種団体等との交流の充実に努めている。



各務原市立各務原特別支援学校



所在地 各務原市那加雲雀町1番地
 〒 504-0836
 TEL 058-383-1268
 FAX 058-383-8023
 ホームページ <http://www.mirai.ne.jp/~kakuyogo/>
 校長 安田 ゆかり
 交通案内 名鉄各務原線各務原市役所前駅下車
 徒歩10分
 JR高山本線那加駅下車、徒歩15分
 設置年月日 高等部 昭和61年4月1日

校地・校舎

校地面積 9,002.41 m²

校舎諸施設面積(延) 2,985.37 m²

設置部・学科・児童生徒数・学級数

(5月1日現在)

部	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	計
児童生徒数				52		52
学級数				9		9

対象となる児童生徒

学校教育法施行令第22条の3に該当する知的障がい者

本年度学校教育の重点

- (1) 一人一人の能力・適正に応じた学習指導に努める。
- (2) 社会生活・職業生活に適応できる生活能力の育成に努める。
- (3) 地域との交流活動を充実し、開かれた学校経営に努める。
- (4) 自立活動の授業づくりの研究を進め、一人一人の教育的ニーズに応える。

学校の特徴

- (1) 地域支援センター事業
 - ・卒業後の支援事業・・・職場定着支援、生活支援、就職相談
 - ・相談事業・・・市内の特別支援教育対象者を中心に、指導上の相談を受ける。
 - ・研修事業・・・市内の特別支援教育に携わる支援者に参加を呼びかける。
- (2) 社会参加・自立を目指した総合的な学習

作業学習	働く喜びの育成
生活単元学習	体験を重視した活動
現場、校内作業実習	職業観の育成
- (3) 生徒の自己選択、自己決定の学習場面を多く取り入れ、主体的、自主的な活動を尊重している。
- (4) 市内の高等学校や地域社会との交流を積極的に推進している。